

2023年12月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社光響
コード番号 5887

URL <https://www.symphotony.com/>

代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 住村 和彦

問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 松永 啓吾 TEL070-6505-5557

定時株主総会開催日 2024年3月27日 配当支払開始予定日 -

発行者情報提出日 2024年3月27日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年12月期の業績（2023年1月1日～2023年12月31日）

（1）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期	1,450	22.4	99	89.0	122	76.4	73	63.7
2022年12月期	1,185	58.8	52	169.9	69	65.3	45	50.4

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年12月期	246.43	-	26.1	24.3	6.9
2022年12月期	150.57	-	20.2	15.4	4.5

（参考）持分法投資損益 2023年12月期 -百万円 2022年12月期 -百万円

（注）1. 当社は、2023年3月23日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っておりますが、2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期	547	320	58.4	1,066.92
2022年12月期	457	246	53.8	820.99

（参考）自己資本 2023年12月期 320百万円 2022年12月期 246百万円

（注）当社は、2023年3月23日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っておりますが、2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年12月期	57	△97	16	84
2022年12月期	39	△31	△32	107

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年12月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2023年12月期	0.00	0.00	0.00	-	-	-
2024年12月期(予想)	-	-	-	-	-	-

（注）当社は定款において中間期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	1,822	25.7	36	△63.1	72	△40.3	48	△34.4	161.58

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期	300,000株	2022年12月期	300,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期	-	2022年12月期	-
③ 期中平均株式数	2023年12月期	300,000株	2022年12月期	300,000株

（注）当社は、2023年3月23日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行っておりますが、2022年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況.....	2
(1) 当期の経営成績の概況.....	2
(2) 当期の財政状態の概況.....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況.....	2
(4) 今後の見通し.....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方.....	3
3. 財務諸表及び主な注記.....	4
(1) 貸借対照表.....	4
(2) 損益計算書.....	6
(3) 株主資本等変動計算書.....	9
(4) キャッシュ・フロー計算書.....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項.....	12
(継続企業の前提に関する注記).....	12
(持分法損益等).....	12
(セグメント情報).....	12
(1株当たり情報).....	13
(重要な後発事象).....	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における世界経済は、脱コロナにより社会活動の正常化が進み堅調に推移しました。一方、ロシア・ウクライナ情勢による資源価格や各種原材料価格の上昇、世界的なコロナ後の需要回復によるインフレと連動した物価上昇、不安定な為替相場の推移などによって、依然不透明な状況にあります。

我が国においては、脱コロナにより経済活動が正常化に向かう一方、消費者物価の高騰や急激な為替相場の変動など、不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社の主要販売先である民間企業及び大学・国立研究開発法人向けのレーザー関連製商品の需要は堅調に推移したことで、売上高は1,450,295千円（前年同期比22.4%増）となりました。また、レーザー関連製商品の品質や性能を維持しつつ調達コストの削減を継続的に進め、原価低減を図ったことから、営業利益は99,840千円（前年同期比89.0%増）、経常利益は122,285千円（前年同期比76.4%増）、当期純利益は73,930千円（前年同期比63.7%増）となりました。

なお、当社はレーザー関連製商品の販売及びその関連事業の単一セグメントであるためセグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は372,781千円となり、前事業年度末に比べ29,663千円増加いたしました。これは主に現金及び預金が22,160千円減少、売掛金が46,987千円増加したことによるものであります。固定資産は175,148千円となり、前事業年度末に比べ60,740千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が41,906千円増加、その他の差入保証金が7,870千円増加、長期前払費用が5,267千円増加、繰延税金資産が5,943千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、547,929千円となり、前事業年度に比べ90,403千円増加いたしました。

(負債)

当事業年度末における流動負債は226,071千円となり、前事業年度末に比べ27,948千円増加いたしました。これは主に買掛金が16,821千円減少、短期借入金が50,000千円増加、1年内返済予定の長期借入金が19,909千円減少、本社移転損失引当金が7,751千円発生、未払法人税等が5,954千円増加したことによるものであります。固定負債は1,783千円となり、前事業年度末に比べ11,323千円減少いたしました。これは主に長期借入金が13,107千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は320,074千円となり、前事業年度末に比べ73,779千円増加いたしました。これは主に当期純利益の計上73,930千円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して22,160千円減少し84,910千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは57,644千円の収入（前年同期は39,671千円の収入）となりました。これは主に、税引前当期純利益108,400千円、売上債権の増加額46,872千円、仕入債務の減少額16,821千円、減価償却費33,163千円、法人税等の支払額34,383千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは97,251千円の支出（前年同期は31,194千円の支出）となりました。これは主に、レンタル・サブスク用のレーザー機器等に係る有形固定資産の取得による支出82,451千円、保証金の差入による支出9,400千円、長期前払費用の取得による支出5,400千円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは16,984千円の収入（前年同期は32,016千円の支出）となりました。これは、短期借入金の純増加額50,000千円、長期借入金の返済による支出33,016千円があったことによるものであります。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、脱コロナで日本経済は急回復してきてはおりますが、地政学的なリスクの高まり、各国の金融政策の動向など不確実性が高まっております。そのような中、各国の政策対応等による世界経済の持ち直しの動きを背景に、研究開発関連・設備関連の投資意欲に回復の兆しが見えており、当社のレーザー関連製商品の需要動向は堅調に推移すると見込まれております。

当社は、レーザー関連製商品の販売に関する効果的なマーケティング活動を行うとともに、提案型営業の強化による販売増加により、収益の拡大を図ってまいります。

これらの取り組みにより、次期の業績予想につきましては、売上高 1,822,651 千円（前年同期比 25.7%増）、販売力強化のための人員増加により人件費が増加することで、営業利益 36,877 千円（前年同期比 63.1%減）、経常利益 72,980 千円（前年同期比 40.3%減）、当期純利益 48,473 千円（前年同期比 34.4%減）を見込んでおります。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年12月31日)	当事業年度 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107,070	84,910
受取手形	932	-
電子記録債権	3,606	4,424
売掛金	93,665	140,653
商品及び製品	54,560	60,167
仕掛品	31,571	23,915
原材料及び貯蔵品	9,934	14,419
前渡金	28,659	36,627
前払費用	3,801	6,248
その他	9,315	1,413
流動資産合計	343,118	372,781
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	63,524	96,805
工具、器具及び備品（純額）	24,935	18,321
建設仮勘定	4,667	19,908
有形固定資産合計	93,128	135,035
無形固定資産		
その他	5,335	5,335
無形固定資産合計	5,335	5,335
投資その他の資産		
投資有価証券	2,782	2,535
出資金	10	10
長期前払費用	82	5,350
繰延税金資産	3,960	9,903
その他	9,109	16,979
投資その他の資産合計	15,944	34,777
固定資産合計	114,408	175,148
資産合計	457,526	547,929

（単位：千円）

	前事業年度 (2022年12月31日)	当事業年度 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,957	40,136
短期借入金	50,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	32,016	12,107
未払金	17,459	21,938
未払費用	159	200
未払法人税等	21,214	27,169
契約負債	4,950	1,751
預り金	5,462	9,355
賞与引当金	650	-
役員賞与引当金	466	-
本社移転損失引当金	-	7,751
その他	8,786	5,661
流動負債合計	198,123	226,071
固定負債		
長期借入金	13,107	-
長期未払費用	-	1,783
固定負債合計	13,107	1,783
負債合計	211,230	227,855
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	231,027	304,957
利益剰余金合計	231,027	304,957
株主資本合計	246,027	319,957
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	268	117
評価・換算差額等合計	268	117
純資産合計	246,295	320,074
負債純資産合計	457,526	547,929

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）	当事業年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）
売上高	1,185,224	1,450,295
売上原価	924,081	1,058,952
売上総利益	261,142	391,342
販売費及び一般管理費	208,324	291,502
営業利益	52,818	99,840
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	20	24
補助金収入	5,365	21,646
為替差益	9,065	-
その他	2,701	2,805
営業外収益合計	17,154	24,478
営業外費用		
支払利息	510	283
支払保証料	79	76
為替差損	-	1,673
その他	45	0
営業外費用合計	636	2,033
経常利益	69,336	122,285
特別損失		
投資有価証券評価損	402	20
固定資産除却損	558	2,549
本社移転費用	-	11,314
特別損失合計	960	13,885
税引前当期純利益	68,375	108,400
法人税、住民税及び事業税	26,333	40,338
法人税等調整額	△3,130	△5,867
法人税等合計	23,203	34,470
当期純利益	45,172	73,930

【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)		当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
製商品売上原価					
Ⅰ 期首商品及び製品棚卸高		23,752		54,560	
Ⅱ 当期商品仕入高		786,935		844,116	
Ⅲ 製造原価					
1 材料費	※1	141,009	84.6	131,090	72.9
2 経費		25,667	15.4	48,851	27.1
当期総製造費用		166,676	100.0	179,941	100.0
期首仕掛品棚卸高		12,099		31,571	
計		178,775		211,513	
期末仕掛品棚卸高		31,571		23,915	
合計		147,204		187,597	
Ⅳ 他勘定受入高	※2	2,035		-	
Ⅴ 他勘定振替高	※3	6,077		175	
Ⅵ 棚卸資産評価損		3,289		3,756	
Ⅶ 期末商品及び製品棚卸高		54,560		62,330	
製商品売上原価合計		902,578		1,027,525	
役務提供原価					
Ⅰ 経費	※4	21,502		31,427	
役務提供原価合計		21,502		31,427	
売上原価合計		924,081		1,058,952	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)
外注費	24,473	48,851

※2 他勘定受入高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (千円)	当事業年度 (千円)
機械及び装置	2,035	-

※3 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度（千円）	当事業年度（千円）
機械及び装置	3,413	-
工具、器具及び備品	436	-
建設仮勘定	2,227	-
販売費及び一般管理費	-	175

※4 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度（千円）	当事業年度（千円）
減価償却費	21,502	27,701

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
		その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計				
当期首残高	15,000	185,855	185,855	200,855	40	40	200,896
当期変動額							
当期純利益		45,172	45,172	45,172			45,172
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)					227	227	227
当期変動額合計	-	45,172	45,172	45,172	227	227	45,399
当期末残高	15,000	231,027	231,027	246,027	268	268	246,295

当事業年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等		純資産 合計
	資本金	利益剰余金		株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
		その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計				
当期首残高	15,000	231,027	231,027	246,027	268	268	246,295
当期変動額							
当期純利益		73,930	73,930	73,930			73,930
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)					△151	△151	△151
当期変動額合計	-	73,930	73,930	73,930	△151	△151	73,779
当期末残高	15,000	304,957	304,957	319,957	117	117	320,074

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)	当事業年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	68,375	108,400
減価償却費	27,580	33,163
長期前払費用償却費	-	132
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	272	△466
賞与引当金の増減額（△は減少）	260	△650
本社移転損失引当金の増減額	-	7,751
受取利息及び受取配当金	△21	△26
補助金収入	△5,365	△21,646
為替差損益	△1,352	△463
支払利息	510	283
固定資産除却損	558	2,549
投資有価証券評価損	402	20
売上債権の増減額（△は増加）	9,178	△46,872
棚卸資産の増減額（△は増加）	△53,262	2,164
前渡金の増減額（△は増加）	7,794	△7,968
未収入金の増減額（△は増加）	△271	5,414
仕入債務の増減額（△は減少）	△7,722	△16,821
前受金の増減額（△は減少）	△27,319	-
契約負債の増減額（△は減少）	4,950	△3,198
未払金の増減額（△は減少）	220	4,391
未払又は未収消費税の増減額（△は減少）	8,786	△3,124
その他	△17	5,148
小計	33,556	68,183
利息及び配当金の受取額	21	26
利息の支払額	△510	△313
補助金の受取額	5,365	24,131
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	1,239	△34,383
営業活動によるキャッシュ・フロー	39,671	57,644
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,543	△82,451
無形固定資産の取得による支出	△5,335	-
投資有価証券の取得による支出	△927	-
長期前払費用の取得による支出	-	△5,400
保証金の差入による支出	-	△9,400
その他	△2,388	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,194	△97,251

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）	当事業年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	-	50,000
長期借入金の返済による支出	△32,016	△33,016
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,016	16,984
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,352	463
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△22,185	△22,160
現金及び現金同等物の期首残高	129,256	107,070
現金及び現金同等物の期末残高	107,070	84,910

（5）財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（持分法損益等）
該当事項はありません。

（セグメント情報）
当社はレーザー関連製商品の販売及びその関連事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前事業年度 （自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）	当事業年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）
1株当たり純資産額	820.99円	1,066.92円
1株当たり当期純利益	150.57円	246.43円

- （注） 1. 当社は2023年2月15日開催の取締役会の決議に基づき、2023年3月23日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。
2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。
3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 （自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）	当事業年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）
当期純利益（千円）	45,172	73,930
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る当期純利益 （千円）	45,172	73,930
普通株式の期中平均株式数（株）	300,000	300,000
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	-	-

（重要な後発事象）

該当事項はありません。